



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.bekkoame.ne.jp/ro/asachu/

2006 - 2007 年度テーマ

R.I. テーマ 「率先しよう」 R.I. 会長 ウィリアム・ビル・ポイド
2580 地区テーマ 「本来無東西・心は一つ」 地区ガバナー 小澤 秀 瑛
クラブテーマ 「ロータリーを味わおう」 クラブ会長 長 沼 一 雄

本日の卓話

「ヘリコプターに少年の夢をのせて」 ヒロボー(株) 社長 松坂敬太郎様

今後の卓話予定

10/25 「職業奉仕再考」 弁護士・ロータリーの友委員長 神崎 正陣様
11/ 1 「イニシエーション・スピーチ」 関原光治君・山口正美君
11/ 8 「学生起業家へのメンター活動」 慶應義塾大学院教授 森 靖孝様
11/15 「書籍業の現状」 エリエイ(株) 編集長 平井憲太郎様



平成18年10月18日

第1009 回例会

会長 長 沼 一 雄
幹事 永 井 健 一

本日の食事	パスタブッフェ	イタリアンソーセージとキャベツのスパゲッティ・スモークサーモンのクリームスパゲッティ・サラダ・デザート
次回の食事	中華卓盛り	ピータン豆腐・トマトとザーサイのスープ・若鶏の甘酢あんかけ・季節野菜と芝エビの炒め・鮭炒飯・デザート

前回(1008回)の記録

出席報告

◆ゲスト 4名 RI 2580 地区ガバナー 小澤 秀瑛様・RI 2580 地区幹事 岩尾 碩様
北分区ガバナー補佐 小勝善一郎様・北分区幹事 大森 一明様
◆ビジター 1名 東京浅草 RC 木村 秀司様

総数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
51名	1名	1名	46名	3名	93.88%	第1006回修正 欠席0・出席率100%

会長報告 <長沼会長>

- ・本日は早朝より小澤ガバナー始め、地区役員の皆様、ご来訪ありがとうございます。クラブ協議会では、種々のご指摘を頂き、大変参考になりました。
- ・先週の第2回委員長会では、各委員長さん、事業報告をありがとうございました。現在の所各委員会共に順調の様で、ありがたく感謝申し上げます。

幹事報告 <永井幹事>

- ・本年度、クラブ事務所を整理整頓しています。だいぶ綺麗になりましたので、皆様お立ち寄り下さい。

委員会報告

<社会奉仕委員会・吉沼前委員長>

- ・先日、朝日新聞夕刊にアジサイと彼岸花の記事が掲載されました。もっともっと隅田公園を花いっぱいになりたいと思います。

ニコニコボックス

<長堀、宮村、原田、遠藤、野田、岩戸、宮沢、海内、松崎、大塚、井田、山尾、吉田、上原、斎藤、松本>

- ・本日はガバナー訪問です。最高の東京浅草中央 R.C.を見て下さい。

<長沼、永井>

- ・小澤ガバナー、岩尾地区幹事、小勝ガバナー補佐、大森分区幹事、本日は公式訪問、早朝よりありがとうございます。

<太田>

- ・お誕生日のお祝いをしていただき、ありがとうございました。

<太田>

- ・年間100%出席の表彰をいただきまして、誠にありがとうございました。

<渡辺、潮田>

- ・結婚記念日の花束ありがとうございました。

<宮沢>

- ・きれいな結婚祝いの花有難うございました。結婚して47年となります。ますます蜜の様な生活を送りたいです。

<吉沼>

- ・阪神タイガース、準優勝大変おめでとうございます。心より、お祝い申し上げます。

<柘>

- ・14日土曜日に日本テレビ朝9時半からの「ぶらり途中下車の旅」に当社が出ます。私の映像はカットされました。理由は私が放送禁止人物であることがわかってしまったからです。

「ガバナー公式訪問」クラブ協議会

■ 6委員会から事業活動報告がありました。

- ・クラブ奉仕委員会 斎藤彰吾委員長
「1000回記念例会について」
- ・ロータリー情報委員会 海内栄一委員長
「新入会員のオリエンテーションについて」
- ・職業奉仕委員会 植木榮委員長
「会員企業の社是・社訓等について」
- ・社会奉仕委員会 松崎文郎委員長
「高齢者との地域ネットワークについて」



- ・青少年奉仕委員会 矢野幸士委員長
「中高生の職業体験について」
- ・国際奉仕委員会 上原洋一委員長
「国際奉仕活動・カンボジアシュムリアップ
日本語学校支援事業について」

■ 以上の報告を受け、次の方々から、お言葉を頂きました。

講評：小勝善一郎ガバナー補佐

総評：小澤秀瑛ガバナー

地区幹事コメント：岩尾碩地区幹事

分区幹事コメント：大森一明分区幹事

卓 話



「特別卓話」

2006－2007年度：RI 2580 地区ガバナー
小澤秀瑛様

小澤ガバナーの卓話について紙面の都合上、次の通りまとめました。詳細をお聞きしたい方は、当日のテープを用意してありますのでお申し込みください。

1. 国際ロータリー会長の「率先しよう」について
率先とは率先躬行・率先垂範となりますが馴染まない方もあると考え、私は“先ず貴方から”という言葉が付けた上で「何を率先するのか」ということについて述べたいと思います。

それは、私のターゲットの一つ「ロータリーらしい奉仕」に取り組むことです。では「ロータリーらしい奉仕」とは何か？ということは深川RI会長代理のスピーチに「若し、煙草の吸殻を捨てるのが奉仕とするなら他の団体に任せようではないか、ロータリーらしい奉仕とは奉仕という事業を通じて人間形成にある。即ち、煙草の吸殻を捨てない人を創ることだ」と喝破されております。

2. 青少年育成プログラムについて

今時の若い者という反面、歴代の大人がやってきた、次の世代を育てる使命が私達にも巡ってきたと思います。いよいよ私達が若者に叱責、叱咤し次の世代を育てる為のあらゆる手段を講じなければならない時がきているのではなかろうか、それが「ロータリーらしい奉仕」の一つと信じております。職場体験をした中学生の一人が「大人はすごい」と言ったそうですがこの言葉こそ今の若者が世間に対する捉え方を伺い知ることができるのではないのでしょうか。当クラブの隅田川公園植樹事業にも青少年を参加させ“物を育てる大切さ”を学ばせ人間形成に役立てるようお考え頂きたいと思います。

3. ロータリー精神で見直そう

釈迦は自分の生誕から3000年を分けて最初の1000年を「正法の時代」次の1000年を「像法の時代」、最後の1000年を「末法の時代」と予言したが、私達人間が今迄共生してきた自然を破壊してきたことによる報いが、この末法の時代に至るかは知る由もない。有難いことに釈迦は末法の時代には弥勒菩薩が現れ人間社会を救ってくれるとあるが、私はロータリアンが、ロータリーの精神でもう一度世の中を見つめ直し、弥勒菩薩に代わり世の中に奉仕することこそ、

私達に課せられた大きな使命ではなかろうかと思う訳であります。

4. 「本来、東西心は一つ」について

「本来、東西心は一つ」とは宇宙から見れば地球は球体あるのみで西も東もなく、球体ではありません。ロータリアンも、上下の差別なく志を同じくする者の集い、ロータリーらしい奉仕に燃えた一つ心ではなかろうか、例会で顔を合わせお互いに確認しあい仲間意識を持って奉仕にあたる一つ心ではなかろうかとの意味合いでターゲットとしました。

5. 「超私の奉仕」について

ロータリー永遠のテーマである「超私の奉仕」が判りづらいとよく聞きますが私は超を外して考えたいと思います。我とは達磨さんが面壁9年もかけて悟る程、判らないのが自分で、それを超えることは考えられません。奉仕については私なりに「慈悲心」という言葉に置き換え、字句の通り「この心、心に洗う」つまり、“自分は置いて人様の為に考えよう”ということが「超私の奉仕」に合い繋がっていくのではと信じております。

6. まとめ

ロータリーは100年を経て、あまりにも事業を広げすぎたきらいがあります。今こそ、原点にかえり、簡素で楽しいクラブ運営を目指す時期がきていると思います。

日常生活を散文とするなら「ロータリーは人生の詩」だと思います。自由人がその志を述べ、放電してきた自分の心の中にロータリーらしい奉仕をし、皆様と相対して心の中に親睦をはかり再充電する例会こそがロータリーの最大のメリットではないかと思っております。

何卒、手足に奉仕を、心に親睦を、皮膚感覚としてエリート意識を持ちながら「ロータリーでなければ出来ない奉仕」についてお考え頂くことをお願い致します。

きんしつ 「琴瑟おおむね相和して」より

著者 千葉光則・挿絵 千葉元子

まだ見ぬ「ふか川の和子さん」

わたしは、手刷りの千社札を持っている。神社仏閣に貼るやつです。近くに浅草の観音様があるので貼ってみたいと思ったが、貼る場所によっては汚くなるので考えて、境内のいちょうの大木の「うる」というのでしょうか、空洞のところにひっそり貼った。

他人は気がつかない場所なので、犬の散歩のついでに近くに寄ってひそかに楽しんでいた。いちょうの葉をかきわけたりして。

ところが、である。敵（この場合はお寺？かも）もさるもの。ある時、あれれ？ ない。ない！ ない！！ はがされているではないか。怒り心頭ではがされた跡に馬鹿！ と書いた札を貼っておいた。それもはがされた。また貼った。はがされた。観音様の崇りが怖い。

もっと目立たぬ場所に移して、いまは安泰である。



最近、札の「光則」に寄り添うように「ふか川 和子」という札が貼ってあるではないか。和子はおばあさんだと、妻はいうのであるが。

野暮の国日本

粹という感覚はどうも最近流行らない。粹の反対といえ、野暮であろう。このほうは全盛で、いま問題の住専に登場する人物はおしなべて野暮である。土地の値段が下がったのは政策のせいだから自分の責任ではないとそらっとぼけて、借金は返さない。退職金も返さない。でかい家に住んで外車を乗りまわし、借金は税金でお願いしますと、野暮を絵に描いたような顔をしている。いつから日本は野暮の天国になったのか。

粹と「ええかっこしい」とは似ているようで違う。ええかっこしいは他人の目を気にするが、粹は内面の美学である。戦時中、海軍兵学校の校長を務めた井上成美は敗戦のあと、家に引きこもり子供に英語を教えて余生を送った。これを粹という。これに反して、ほとぼりが冷めると議員さんになって世にときめいたお人もいる。

たまには粹な話も聞きたいものだ。このままでは粹は死語になる。



* 休会中の千葉さんが、先日の1000回記念例会に元子婦人と仲良く参加されていたのが、目に浮かびます。元気になられ、クラブに復帰されるのを願っております。

ちょっと一言

・伏見は名水どころ

伏見は酒どころ。酒どころには、どの地でも名水ありと言われる通り、御香宮神社の本殿の左に日本名水百選に認定されている御香水がこんこんと湧き出ている。

伏見はその昔、伏水といわれ、川に架かる橋の欄干に「伏水街道第三橋」と跡が残る。字の如く、京の北山に降る雨水が地中深く潜り、このあたりで伏水となり湧き出ているのであろう。

伏見の酒造りが栄えるのは、この名水の恵みのお蔭だ。

御香宮から伏見の中心、大手筋商店街を西へ歩くと、その昔、淀川を大阪、京を行きかかった三十石船が着く伏見港へ続く。その濠川に映える白壁造りの酒蔵は、夕暮時に行くと格別美しい。

酒のいい香りに誘われて、大倉記念館に立ち寄り、酒造りの道具類や行程の展示を観て、ちょっと一杯、試飲など愉しみ、その後で別の酒蔵の地ビール館でゆっくりするのもいいものだ。



酔蜻蛉